

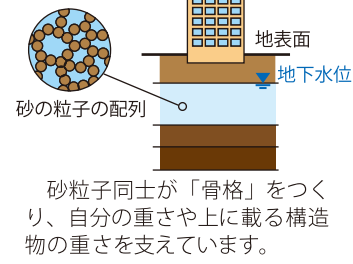
液状化危険度マップ

液状化とは

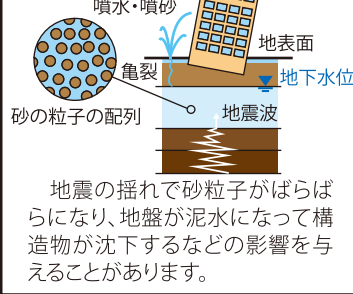
地震により砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになり、周辺が地下水で満たされ地盤が泥水となり、地盤の強度が弱まったり、地盤の沈下が発生する現象です。



地震発生前



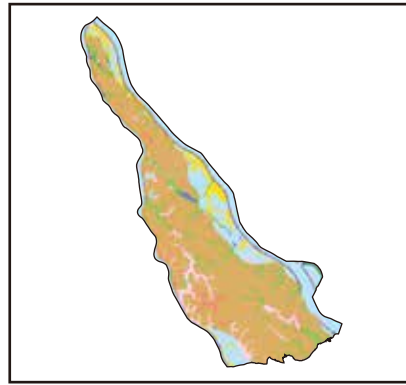
地震発生後



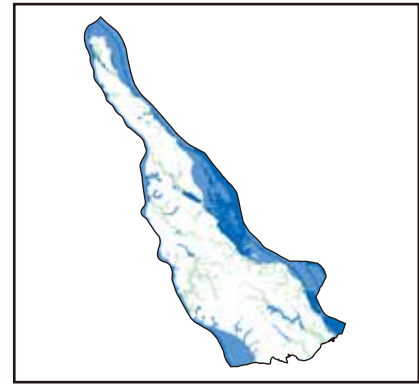
液状化危険度マップができるまで

液状化危険度マップは、液状化地域ゾーニングマニュアル(国土庁防災局、平成11年1月)を参考に次の手順で作成しています。

- ① 本市の地形を地形分類にもとづき分類します。
- ② それぞれの地形に応じた液状化のしやすさを推定します。



微地形分類図



液状化危険度マップ

地形分類に応じた液状化の可能性の判定	
地形分類	液状化の可能性
旧河道	非常に大きい
堤防(低地)	
埋立地・干拓地	
盛土地	
自然堤防	大きい
デルタ・後背湿地	
谷底平野	小さい
ローム台地	なし
堤防	
人工改変地	

※ 盛土地は状況により、危険度の区分が変わる場合があります。

凡 例

	市役所・支所・出張所
	国 道
	県 道
	鉄 道
	市 町 界

液状化危険度凡例

危険度	極大	大	小	無
液状化の可能性	非常に大きい	大きい	小さい	なし

